

会長就任のあいさつ 令和4年7月1日

会員の皆様並びにそのご家族の皆様には、平素より連盟活動に対しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます

この度、令和4年6月27日の定期総会において、会長に選出されました稲生哲彌（いのうてつや）と申します。

微力ではありますが、連盟の発展と会員及びご家族様のために、精一杯努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの蔓延により外出自粛や働き方の見直しが行われるなど、私たちの生活様式は大きく変容しました。

また、世界各地で紛争が勃発し、物価が高騰するなど、その影響が私たちの日常生活に及んでいる状況にあります。

このような厳しい状況の中、社会保障制度に目を向けますと、年金分野では、年金額の引き下げとなり、医療分野では、医療機関における窓口負担増を余儀なくされており、今でも厳しい生活に更なる追い打ちをかけられている状況にあります。

持続可能な社会を構築するために改革は必要ではありますが、私たちの生活に大きく影響を及ぼす、社会保障制度の悪化は阻止していかなければなりません。

そのためにも多くの年金受給者が年金者連盟に結集し、全国の年金者連盟の仲間と共に、国会並びに政府に対し陳情・要望活動を進めて行く必要があります。

しかしながら、会員の減少傾向は、近年、常に重要な検討課題として、全国的にも当連盟においても掲げられており、年々、その状況は深刻さを増してきているところです。

今こそ、地域社会活動に少しでも貢献し、年金者連盟の存在意義を示し、年金受給者はもとより現役世代の公務員に対しても年金者連盟への加入意思を高めていくことが重要であると考え、日々、様々な施策を研究・検討しております。

年金者連盟の活動を維持していくためにも、会員の皆様のより一層のご支援と年金者連盟への加入促進にご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、会長のあいさつとさせていただきます。

第12代 千葉縣市町村職員年金者連盟会長 稲生 哲彌